



木の実谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第11号」
令和5年2月17日発行
「誉れ・希望・誇り」

スマホ等の使用時間と家庭内ルールの再確認を

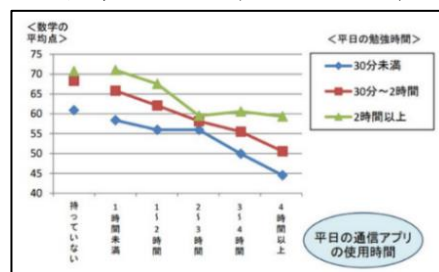
校長 水科 貴之

今年度の教育活動も残すところ1か月余りとなりました。学校では第5教育期「まとめ・新生期」の目標の一つである「卒業に向け、感謝の気持ちを持って伝統を引き継ごう」の具現化を目指し、生徒は日々の授業や諸活動に一生懸命取り組んでいます。

さて、生徒・保護者を対象とした生活アンケート結果については、先月の学校だよりに掲載させていただきました。評価項目によっては、学校だけの取組ではその改善が難しく、家庭との連携や共通理解が不可欠な内容もいくつかあります。その一つが、スマホを中心としたメディア等の使用時間や家庭内ルールについてです。コロナ禍以前に比べ、家庭で過ごす時間が増えたり、会話や人との接触が制限されたりする影響もあり、スマホやゲームをする時間も増加しており、その適正化を図ることが当校でも課題となっています。



詳細はこちら



右上のグラフは、スマホ等の使用時間が学習面へどのような影響を及ぼしているかに関して、東北大学と仙台市教育委員会が実施した調査の分析結果です。下記のような悪影響を指摘しています。

- ・スマホの使用時間が長いほど、成績は下がる傾向が顕著である。
 - ・使用時間が長いと、学習時間が長くても成績が上がりにくい。
- (学習時間30分でスマホ使用が1時間未満の生徒と、学習時間2時間以上でスマホ使用が4時間以上の生徒の成績はほとんど変わらない)
- スマホやゲームを長時間使用するといくら勉強しても成績は下がる。

またプロジェクトチームでは、「スマホ等の使用時間は1日1時間以内」「家庭でのルール作り(勉強中は電源を切る等)」などについても具体的に提言しています。

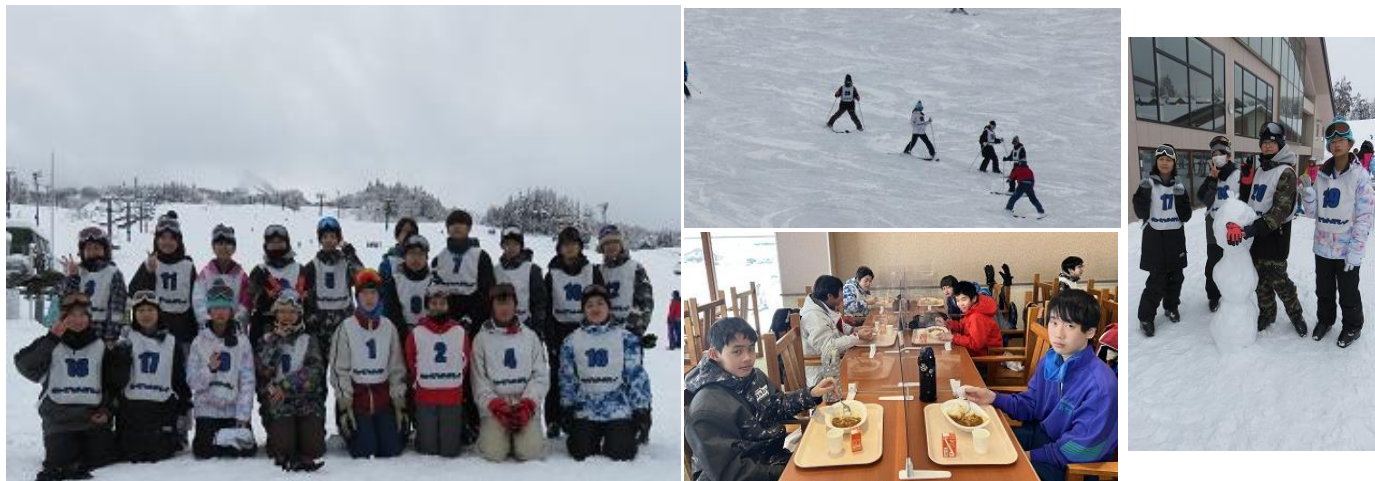
これらを受け、2学期末に実施した吉中生のメディア使用の実態は下記のとおりです。

- ・平日のメディア使用時間が2時間以上の生徒の割合が65%。3時間以上は29%。
- ・メディア使用について家族や自分自身でルールを決めている生徒は、全体のわずか38%。

各ご家庭での、お子さんのメディア使用の状況はいかがでしょうか。毎日の授業への取組や家庭学習の充実を図るためには、スマホをはじめとするメディア使用時間のコントロールが極めて重要です。1年間の節目となるこの時期に、ぜひお子さんのメディアの使用状況を再確認していただくとともに、時間管理等について十分話し合ってくださいようお願いいたします。

今後も実態に基づく課題を明らかにし、生徒自身がメディアの使い方やSNSの利用方法についての意識を高め、自分でルールを決め、それを守っていこうとする自律的な態度を育めるよう取組を続けてまいります。引き続き、学校と家庭とで連携しながら、生徒の望ましい生活習慣の確立、そして学習習慣のより一層の向上を図っていきたいと考えています。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

<1月27日 1年スキー授業>



1年生が楽しみにしていたスキー授業。出発の朝の天気は雪でしたが、スキー場へ到着すると、みんなを待っていたかのようにお天気が回復しました。スパイシーなカレーを食べた後は、時間を惜しんでゲレンデに飛び出していく姿が見られ、雪だるまづくりを楽しむ生徒もありました。雪のある新潟ならではの文化を満喫しました。

<2月2日 原子力防災講話>

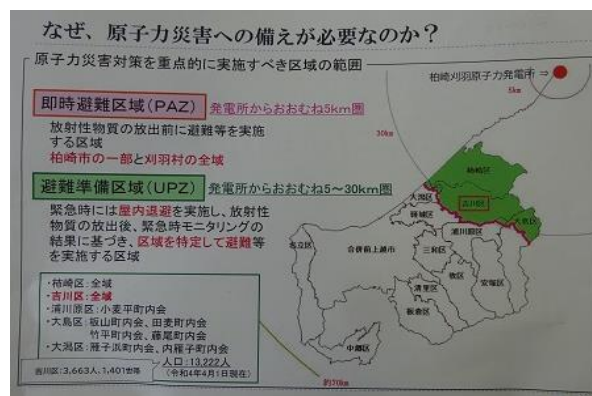


昨年に引き続き、3学期は原子力災害を想定しての避難訓練を行いました。目に見えない放射線の被害から命を守るために、吉川区総合事務所総務班 玉井秀一様、市役所原子力防災対策課の職員の方からおいでいただきました。実際の避難訓練の様子を観察していただいた後、全校で講話をお聞きしました。

吉川区は柏崎刈羽原子力発電所から30Km圏内にある避難準備区域（UPZ）にあたり、緊急の場合はまず屋内避難が必要です。

原子力被害は見えない、聞こえない、においや味もしない（五感で感じられない）特殊性があることから、普段から放射線の基本的な知識をもって行動することが大切であることを学びました。

必要以上に怖がらず、適切な行動をとって、避難行動がとれるようにしていきます。



<2月3日 新入生説明会>



吉川小学校6年生を迎え、新入生入学説明会を行いました。今年は、1年生による学校案内・学校生活に関する紹介・部活動体験の3つを行いました。2・3年生の授業は、班活動の様子を参観しました。1年生の学校生活の紹介は、12月から準備を進め「6年生がわかりやすく、楽しんでもらえる」ことを意識しスライドやクイズをつくって発表を行いました。部活動体験は、3グループに分かれ、すべての部活動を体験しました。6年生の入学を心からお待ちしています。

<1月25日 オンライン授業 >



1月25日は、大雪による市内小中学校一斉臨時休業となりました。吉川中学校では、4時間のオンライン授業を行いました。3学期からは、毎日タブレットの持ち帰りを行い、このような急な休業の場合でも、学校から授業や課題の配信が行えるように整備を進めています。

今までも、欠席者へのオンライン授業はしていましたが、この日は生徒が全くいない状況でのオンライン授業となりました。5教科だけでなく、体育では実技による授業も実施しました。

翌日の生徒の感想では、「黒板が見えにくい」などの要望や「家でも体を動かすことができよかった」などの感想も聞かれ、おおむね良好な状況でした。また「オンライン授業をしてみて、学校で友達と話したり、遊んだりできることの良さを感じた」という声もあり、改めて何事もない日常への感謝を感じていたようです。まだ降雪の予報やインフルエンザや新型コロナ感染症等の影響も続いていることから、オンライン授業の見直しや改善に取り組んで行く予定です。

第2回学校運営協議会の開催について（報告）

1月18日（水）に5名の委員の皆様からお集まりいただき、今年度、2回目となる協議会を開催しました。前半は、全学級の6時間目の授業の様子を参観いただきました。後半は、2学期の教育活動の様子や成果、課題等について各種アンケート結果をもとに説明をし、質問や意見をいただきました。



委員の皆様からの貴重なご意見を十分参考にし、今後の教育活動に生かして参ります。※ 一部をご紹介します。

【授業の様子】

- ・大変落ち着いた雰囲気での学習している。
- ・授業の中で英語量が多く驚いた。さらに生徒が英語でコミュニケーションを図る機会を増やしていくことが大切。これからの社会を生き抜くためにも必須。

【生活習慣】

- ・朝食摂取の数値が低いことが気になる。
- ・家庭内で夕食や朝食と一緒に食べる機会も少なくなっているのではないかと。

【次年度に向けて】

- ・職場体験活動は、「地域おこし協力隊」や保育園・小学校等も効果的に活用してはどうか。
- ・「やったれ祭り」での中学生の協力を感謝。次年度もぜひお願いしたい。
- ・家庭学習も大事だが、やはり毎日の授業が基本。もちろん数値学力も大事だが、他者と関わる力やコミュニケーション能力などの力を身に付けることがより重要。
- ・毎日のホームページや各種便り等での情報発信は有難い。今年度は特色ある教育活動も多く、地域にも活力をもたらしている。



2月7日には、今年度最後の小中合同学校運営協議会を開催しました。小中学校共通取組事項の達成状況を話し合い、成果と課題について共有を図ることができました。

小学校で身につけたあいさつの習慣が中学校でも引き継がれていることやメディア視聴を含めた生活習慣の改善等に取り組み、たくましく成長する子どもたちの育成に努めて参ります。

3月		【第5期 まとめ・新生期】 ・1年間の振り返りと成果の確認をし、新たな目標を立てよう。 ・卒業に向けて感謝の気持ちを表し、よき伝統を引き継ごう。
2日	木	3年PTA学年会計監査
3日	金	卒業式予行 会場準備
6日	月	第44回 卒業式
7日	火	公立高校一般入試 高校生に話を聞く会
9日	木	1・2年実力テスト
13日	月	特編授業（～23日まで5限授業）
16日	木	2年修学旅行（～17日） 公立高校合格発表
20日	月	PTA新旧役員引継会
22日	水	1年PTA会計監査
24日	金	3学期卒業式
27日	月	離任式(午前) 後援会会計監査
28日	火	2年PTA会計監査 生徒会リーダー研修(午後)

